



将来の心配事が軽減

進路研修座談会 報告

今からできる事のヒント満載

10月28日(火) PTA 進路研修座談会を実施しました。今年は4名の卒業生のお母様にお越しいただき、卒業後のひとりだちの様子を聞かせていただきました。お話の中から一部ですが紹介させていただきます。

高等部への進学、現場実習先など、選べることができる場面では、いろいろな出合いができる方を選んできた。本人は、いろいろな人とのやり取りを経験する中で、自分なりに試行錯誤を繰り返し、「伝わった!」「こうしたら分かってもらえた!」を時間をかけてゆっくり獲得していった。そんな中で、伝わらない苦しみからくる自傷行為も少しずつ減っていき穏やかな表情が増えていった。そこでの様子や、事業所の方の関わってくださる様子を自分の目で確かめたくて、お願いをして我が子と一緒に現場実習先に毎日通った。子どもの様子を確かめながら、最終的な見極めを自信をもって行えた。一緒に選べた進路先では、穏やかで充実した毎日を過ごしている。

中学部の頃から、夏休みなどの長期休みを利用して、親子でいろいろな福祉事業所に足を運び、体験をさせてもらってきた。PTAで出会った先輩ママに、「親がこどものコーディネーターやよ」と教えてもらったことが原動力となり、動き始めることができた。そういう時間を経て本人が決定した進路先に、安心して送り出すことができた。学校に通ううちから毎日毎日繰り返し身に付けてきた「規則正しい生活習慣」が本人の自立を大きく支えているし、そのおかげで、子どもを信頼し家族もそれぞれに安心して社会生活が送れている。

本人にとって、家族、職場以外の頼れる存在があることの大切さを実感した。困ったときに相談できる人や相談先があることが本人や家族にとって力強い支えになった。自分を知っていてくれる人が親以外にもいることで、精神的自立につながっている様子。親はずっと小さいころから子を見ているので、こうだろうと思ひこむところもある。いろいろな人に会って、様々なものの見方や考え方や、自分もまだ知らないようないろいろな可能性と出会える用意をしてやれるのも親。親亡き後も地域の中で自分らしく暮らしていけるためにも。

本人が「できるようにになりたい」と思うことがスタート。それについて、まずはやって見せ、やらせてみて親が補いどころを教えてもらう。困っているところに焦点を当ててもう一度やって見せる。そしてやらせてみる。この繰り返し。失敗してあたりまえ。失敗しても何度でもやり直せば良いことを、一緒にやってみる時間の中で経験させてきたことが良かったかなあと思う。先回りしてやってあげてしまうと、できないが増えていく。一緒につまずいて起き上がればいい。「だいじょうぶだいじょうぶ。」と一緒に安心して失敗させてきた。

いろいろ課題はあるけれど、ゲーム感覚で親子で楽しく前向きに取り組んできた。自分の人生を自分で生きていってくれることを願っている。

4名の方の子育てのお話を通して「ひとりだち」について考えさせていただくことができました。社会への送り出し方、子どもとの向き合い方のお話の端々に、お子さんへの信頼、愛情を感じ、今日からまた頑張ろうというエネルギーが湧いてきました。今年は4会場に分かれて小グループで移動しながらお話を聞かせてもらいました。気軽に質問ができ、参加者の皆さんに御好評をいただきました。参加された皆さん、とても良いお顔で帰られました。お忙しい中御参加いただきありがとうございました。

裏面にいただいた御感想から一部抜粋してご紹介させていただきますのでご覧ください。 >>

卒業後の子供さんたちが、今どんな風に過ごしているのかとても、興味深くお話を聞くことができました。親御さんの気持ちなども聞くことができ良かったです。今のうちからしていた方がよいこと等、とても参考になりました。この先の進路がどうなるのかまだわかりませんが、子どもにとって一番過ごしやすい場を選択できるというと思います。ありがとうございました。



4パターンの卒業後のお話を聞き、一人一人に合った選択が本当に大切だと改めて感じました。

卒業までにも将来を見越した準備や体験をいろいろと試すことで、選択するときの材料になって、より本人に合った環境を整えてあげられるのだと思いました。今のうちにできることを精いっぱいやってあげて、後悔の無いようにしたいです。どのお母さんも本当にお子さんのことを一番に理解してみえるように感じました。母親として大変な事ばかりだったと思いましたが、母親は本当に強いのだな、私もそうなりたいと思いました。

少人数に分かれて、集中してお話を聞くことができ良かったです。ざっくばらんで、アットホームな雰囲気、疑問に思ったことなどを相談でき、御回答ただけて、将来の心配事も軽減されました。

次も聞きたい。



お母さん方は「コロナがあったから〇〇ができた」と、ポジティブにとらえて行動したことを話してみえました。

自分の子供のことをちゃんと理解して、ちゃんと合った進路を選んであげる。私もじっくり考えて将来の選択肢を増やしてあげられるようにしたいと思いました。

進路について先輩のお母さんのお話を聞くことができ、とても気付くことが多く良い機会となりました。

それぞれの御家庭の小さい頃からのお子さんとの接し方、進路を決めていかれた過程をお聞きして、私の反省点にも気づき、今からできる事、そのヒントを頂けてとてもありがたかったです。またこのようなお話を聞く機会があれば参加したいと思います。



お子様が生まれたころからずっとつないできた手を少しずつ手放しつつ歩んでこられたお話を終えられ、ふと天井を見上げ、深呼吸をしてにっこり一言「これが私の子育てです。」と添えられた表情がとても印象的でした。4名のOBの皆様ありがとうございました。